

造影検査に関する説明

◆造影検査とは

造影剤を血管内に注射し撮影することで、病変の部位や性状をより詳しく描出し診断に役立てます。造影剤が体内に入ると少し熱く感じるがありますが、一時的なもので心配ありません。検査後は造影剤が尿によって排泄されるので、水分を多めに摂るようにしてください。

◆造影剤の副作用について

造影剤は安全な薬剤ですが、まれに以下のような副作用が起きることがあります。

軽い副作用	・咳 ・くしゃみ ・かゆみ ・発疹 ・吐き気 ・嘔吐 ・じんま疹など (100人に数人)
重い副作用	・呼吸困難 ・血圧低下 ・意識障害 ・腎不全など (1万人に数人)
遅発性副作用	・頭痛 ・吐き気 ・かゆみ ・発疹など (100人に数人)

※1 下記に該当する方は、造影剤の副作用が生じる頻度が比較的高く、症状も強く出る場合があり、検査内容が変更となる可能性があります。

- ① 今までに造影剤を使用して副作用が出たことのある方
- ② 気管支喘息や花粉症といったアレルギー性疾患のある方
- ③ 他の薬剤でアレルギーが出たことのある方

※2 CT造影検査の方で重度の甲状腺疾患がある方は重篤な副作用は発生する可能性が高く、造影剤を使用できないため造影検査を中止させていただくこともあります。

副作用は造影剤投与直後に起こることが多く、検査中は副作用に対して適切な処置が講じられるように万全な準備を整えています。ごくまれに検査後1～2時間から数日の間に遅れて副作用が発生することがあります。(遅発性副作用)

検査後に副作用がみられた方はかかりつけ医に電話をして症状を報告し、かかりつけ医の指示に従ってください。連絡がつかなかった場合は、その日の当番病院または救急病院を受診してください。

◎造影剤副作用歴をお持ちの方は必ず「造影剤副作用カード」をお持ちください。

造影剤副作用カード	
(血管内投与造影剤)	
(CT / MRI / 血管撮影 / 尿路撮影)	
ふりがな お名前	性別
生年月日：(明・大・昭・平) 年 月 日	

◆血管外漏出について

造影剤が血管外に漏れて腫れや痛みを伴う場合があります。ほとんどは時間がたつと吸収されますが、ごくまれに処置が必要になる場合があります。

◆検査の同意について

- ・ 同意が得られない場合は、造影剤検査を行いません。
- ・ 同意書に署名をいただいた場合でも、いつでも造影剤検査を拒否することが可能です。
- ・ 造影剤検査を拒否された場合もその後の診療において不利益を被ることはありません。
- ・ 既往歴等によっては、こちらの判断で造影検査を中止させていただく可能性があります。